

科目名 Course Name	領域人間関係 Field of Human Relations on Childhood			ナンバリング No.	K1-007		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小倉 庸寛						
連絡方法	本館2階研究室、C-Learning で対応する						
必修/選択	選択(幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と 到達目標	乳幼児の人との関わりの特徴と保育者の対応、環境の構成を理解する。 養護と教育の関係性が述べられる。						
授業の方法	3回を1つのまとまりとして、講義、討議、発表とする。 討議は ディベート、グループワーク形式にする。 発表は全体へのプレゼンテーションとレポート形式にする。						
学習成果	L01						
	L02	考える習慣、発表の実際を身につける。					
	L03	教育要領を正確に理解し、幼児教育の中、特に人間関係を実践する知識、技能を身につける。					
	L04						
課題に対する フィードバック	発表とレポートに対するコメントを講義内にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	「幼保連携型認定こども園要領」内閣府、「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省 横山文樹・駒井美智子(編)「保育を学ぶシリーズ①保育内容 人間関係(改訂版)」 大学図書出版						
履修上の留意点 やルール等	指定の席に座る。中座はしない。飲食禁止。レポートは必ず出す。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	平成 22 年より幼稚園副園長。平成 27 年より認定こども園園長。令和 5 年 4 月より保育園を運営し、園長に就任する。(実務経験 25 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	出席し、的確なメモが作成できる。全体の中で積極的発言ができる。		15		
レポート/作品	各年代の人間関係の特徴を理解し、それが言える。		50		
発表	各年代の保育実践計画を語り発表できる。			20	
小テスト					
試験	設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に授業内の学びを超え、自己の考え方も示されている。			15	
その他					
合 計			65	35	

回数		授業計画
1	授業内容	授業の目的を確認し、方法の成果と説明を受ける
	事前・事後学習	教育要領解説の第2章を読む
2	授業内容	領域 人間関係の意義について
	事前・事後学習	私たちにとっての人間関係とは
3	授業内容	子どもの発達と人間関係
	事前・事後学習	乳幼児期の発達を知る
4	授業内容	乳児の発達の特徴と保育内容①(アタッチメント、人見知り)
	事前・事後学習	0, 1 歳児を観察してくる
5	授業内容	乳児の発達の特徴と保育内容②(言葉によるコミュニケーションの開始)
	事前・事後学習	0, 1 歳児を観察してくる
6	授業内容	2 歳児の発達の特徴と保育内容(大人とのやり取りを楽しむ、友達とのトラブルを通しての 人との関わり方を学ぶ)
	事前・事後学習	レポートの提出
7	授業内容	3 歳児の発達の特徴と保育内容(第1反抗期、友達とのごっこ遊び)
	事前・事後学習	3 歳児の遊びを知る
8	授業内容	4 歳児の発達と保育内容(友達と協力する遊び、トラブルで相手の立場を理解する、社 会習慣の獲得)
	事前・事後学習	4 歳児との遊びを考える
9	授業内容	5 歳児の発達の特徴と保育内容(ルールや役割分担のある遊び、互いに尊重してトラブ ルを主体的に解決する)
	事前・事後学習	5 歳児との遊び、遊び方を考える
10	授業内容	気になる子どもと人間関係
	事前・事後学習	気になる子どもとは
11	授業内容	特別な支援を必要とする子どもへの援助
	事前・事後学習	気になる子と特別な支援を必要とする子の違い
12	授業内容	保育者同士の人間関係
	事前・事後学習	園の組織を考える
13	授業内容	保護者との人間関係
	事前・事後学習	保護者とは誰のことか、子どもにとってどんな存在か
14	授業内容	行事と人間関係
	事前・事後学習	どんな行事があるか事前調べる
15	授業内容	地域に開かれた園とそれをつなぐ人間関係
	事前・事後学習	レポート提出